



# 名護高校だより

2019年 2月 19日  
第18号  
校長 大城 健

## 快挙！琉球大学医学部(医学科)2名合格！

難関琉球大学医学部(医学科)にフロンティア科3年生の島袋省吾君(名護中出身)と昨年度卒業生の仲地ユリナさん(羽地中出身)の2名が合格しました。本校から国立大学の医学部(医学科)へ現役合格を果たしたのは25年ぶりです。(平成6年卒業49期生の比嘉千明さんが群馬大学医学部に現役合格以来)島袋君は3年間しっかり学習を積み重ね、英検準1級も取得し、沖縄県グローバルリーダー育成海外研修事業においてアメリカ・モンタナ州にも派遣されました。生物化学部では「本部町塩川のアシナガヌマエビの研究」はじめ様々な研究に取り組むなど、学業とともに多岐にわたる活動に挑戦しました。仲地さんも高校時代からの「地域医療に貢献したい」という夢実現のため、卒業後も一生懸命受験勉強に打ち込み合格を果たしました。



2人の合格は、名護高校(北部地区)で努力することによって高い目標も実現できることを証明してくれました。北部の将来を担う人材育成にとってもたいへん価値ある快挙です。この成果は後輩達がきっと受け継いでくれることでしょう。

## 県教委主催「生き生き活性化支援事業」研究発表会開催

今年度、県教育委員会主催「生き生き活性化支援事業」において『国際理解教育の充実を図る取組の研究』をテーマに、研究主任の平良桂一先生を中心に取り組みを行い、1/31(木)に本校会議室でその研究発表会が開催されました。昨年度までの指定研究を継承し、生徒の海外渡航挑戦、体験報告会、講演会、各種コンクールへの応募等を推進し、取り組みを通して、国際(他者)理解を深め、それによって自己理解も深めていく。そして将来他者を尊重し、他者と協力して社会を担っていける人材の育成を目指しています。持続可能な取り組みになるよう研究を推進し、今年度73名の生徒が海外に渡航しました。渡航先はカナダ、アメリカ、フランス、ミャンマー、ラオス、シンガポール、韓国。研究会に参加して頂いた教育庁の屋良淳班長、田場直樹主事からも高い評価を頂きました。



## 学園祭バザー収益金、メッシュサポートへ寄付

第27回学園祭でバザーを行ったのが2-4、2-8、3-7。毎回学園祭バザーの収益金は社会貢献のために活用しています。今回3クラスの収益金は46,945円。当該クラスの生徒達が相談し、地域医療のために活動している「NPO 法人メッシュサポート」へ寄付しました。メッシュサポートは、航空機を活用した救急医療を提供しているNPOです。多くの離島を抱える沖縄にとって医療の課題はたいへん深刻です。これは北部地域の課題でもあります。生徒達は社会の課題に積極的に向き合い、何ができるか考え、今回の寄付につなげました。地域に支えられて育った生徒達が、将来きっと地域を支える人材になってくれることでしょう。



## ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞・グランプリ受賞！



2/11(月)に行われた第12回沖縄県ヴォーカルアンサンブルコンテストにおいて、合唱経験のある生徒が中心となって練習に取り組んで出場したメンバーは、(2年)上間愛華(1年)當眞友梨・當銘仁菜・西銘楓夏・峯村柚美・上地さくら・比嘉星怜の7人。2曲を演奏し、透明感のある美しい歌声と、高い表現力が評価され、金賞受賞とともにグランプリ(全部門総合1位)に輝きました。来年度は同好会として活動し、NHK音楽コンクールでの九州派遣が目標です。

## 軽音楽部“スニーカーエイジ沖縄大会”準グランプリ獲得！

8月の予選で15校選抜され、2/17(日)うるま市民劇場でのグランプリ大会に出場。抜群のチームワークと演奏で栄えある準グランプリを獲得しました。メンバーは(3年)岸本開里(1年)福田倫妃、(2年)知花俊作・具志堅光生・西村怜・當銘歩太・前原維羽音。感動のステージでした。



## ゴルフ部 佐渡山理莉、県教育長表彰！



ゴルフの日本代表としてアジア大会に出場した佐渡山理莉さんが、その功績により沖縄県教育長表彰を受けました。将来、プロとして大きく羽ばたいてくれることを期待します。